

団地の中は僕のプレイグラウンド

MUJIN
COMICS

成 年
コミック



Presented by
OMINA TACHIBANA

立花オミナ

僕は坂元祐樹
●学2年生

うーん…

見つからないなあ…

夏休みを利用して
住み込みのアルバイトを
するため1人
知らない街に来ていた

そもそも
送られてきた
地図が曖昧すぎて…

合ってる
のかなあこれ…

仕事の内容は
詳しく聞かされて
いないけど
何やら団地の管理人の
手伝いだとか…

ああもう
このままだと
日が暮れちゃう

バイト初日で
これじゃ先が
思いやられるよ…

もうだいぶ
近くまで
来てるはずだし

とにかく
急がないと！

キャッ！！

うわっ！？



ここ、あさやけ団地は
日本一の規模を誇る
巨大な住宅団地

同じような建物が
迷路のように
広がっているため
地元の人間でさえ
迷子になると言われている

〈第1話〉
ボク達の管理人

しかし
築50年以上が経過した現在
多くの住人が移転をし
かつての賑わいは
無くなっている





って
うわあ!!

だ、誰ですか!?

あはは
怪しいもんじゃ
ないって

えっ…
ということは
あなたが?

いやいや
私はただの
案内係だよ

坂元祐樹くんと
サラさんだよな?

いや〜
あんまり遅いから
様子見に来ちゃったよ



えっ
本当ですか!?

イエース

早速管理人さん
とこ行こうか
2人の歓迎会
開くらしいからね

私は千代田葵ね
葵でいいわよ



サラさんも
なかなか来ないから
心配しちゃったよ

すみません
ご迷惑を…

いえいえ

ただいまー

ガチャ

おかえりなさい
そちらが新しい
管理人さんね

あんまり遅いから
心配したわよ

あらあら
ご苦労様

いやー案の定
道に迷ってたみたい

まあ2人一緒
だったのは
ラッキーだけど

歓迎するわ
祐樹君

あっ…はい！
初めまして！！

アルバイトは
初めてですが
よろしく願います！！

管理人の
みわき
峰岸美延よ…

よろしくね
祐樹君

管理人の仕事は
明日からということ
まずは上がってちょうだい

食事の準備が
できてるわ

はい！
お邪魔します！



さあ
召し上がれ

ハイ!
いただきます!



日本の料理は
お口に合うかしら?

お鍋も
お酒も大好きです!

行儀が
悪いわよ
葵

えー管理人さん
お母さんみたいな
こと言っ



さつ柊樹君も
沢山食べて

高宮佳織よ

ありがとう
ございます
えっと...

佳織^{かおり}さんは
お向かいさんでね
歓迎会の
手伝いに来て
もらったの

そうでしたか

それじゃ少し
お仕事の話も
しておきましようか…

は、はい！

あなたにはこの
団地一帯の管理人を
務めてもらいたいの

元々の管理人である
私の代理としてね

僕なんか
できるんでしょうか？

難しく考える
必要は無いわ

周囲の見回りや
お掃除…
簡単な仕事だけ
任せるから

人は減ったけど
何せ敷地は
広いからね…

私1人じゃ手が
回らないことも
あるのよ

簡単な仕事だけど
社会勉強だと思って
頑張ってちょうだい

は、はい！！

よし！！
それじゃあ
飲んで飲んで！！

わわっ！！

あらあら
ダメよ2人とも
子供なんだから

明日から
よろしくね

えーいいじゃん
無礼講ってことで

だめよお
私が代わりに
飲んであげるから

あ、お代わり
もらえますか？

サラさん
お強いね

良かった…
簡単そうな
仕事で…

アッ

へーサラさんって
日本人の血を
引いてるんだ

そうなんです
祖先の事は詳しく
知らないんですが…

日本に来るのは
子供の頃からの
夢でした

じゃあ祐樹君と
同じだねー

海外旅行するために
アルバイト
始めたんでしょ？

サラさん…
まだお仕事は
見つかって
いないんでしょう？

良ければ私も
手伝うわ

はい…

本当ですか!?

ありがとう
ございます!!

仕事見つかる
といいねー

せ…背中に
葵さんの胸が…

やっぱり女の
人ばかりだと
緊張するなあ…

それにしても
ちよつと暑い
ですね

お酒も
入ってるし
ねえ





それは
良くないわね
祐樹君

ご...ごめ...
ごめんなさ...

まわ...まわ...



あらあら...

祐樹くんたら
2人のおっぱい見て
勃起しちゃったみたい♡

なあっ!?



え?

これから一緒に
暮らすんだから
隠し事は無しよ



ちよつと
何を!?

男の子ですものね...
ちゃんと我慢せずに
処理しなくっちゃ





あつあつ…
だめ…ですって…

祐樹くんの
オチ●チン…
とても美味しいわ…

ああつ…

下のお口でも
味わいたいくらい…

うああつ

んふう♡
私もっ…
早く欲しいわ…

女の人の舌つて
こんなにくるくる
動くんだ…

意識が…
遠のきそう…

もっ…
もう…
これ以上…

いつの間にか
ファリスドキスまで…



誰で
筆おろししたい？

もうセックスの
やり方くらい
知ってるわよね？

おばさんが
搾り取ってあげる♡

好きな身体を
選んでいいわよ…

もちろん
私だよー♡

裸の女の人
が
いっぱい！！

ちゃんと全員と
させてあげるから…

え、えつと
とのっ…

今日：初めて会った
人たちののに……

みんな美人で
スタイル良くて……

誰か一人
選べなんて
言われても……

もー
しょうがないなあ

え？

選べないみたいだし
私達で決めちゃう？

そうね……
それじゃあ

どろろ……



ほら皆
こっちに並んで

サラさんは
そっちで...

.....!!

え!?

あー
いいですねえ♡

全員で一緒に
筆下ろし
しましょうか

さあどうぞ
祐樹君
まずは私からね

お尻が並んで...

少し入れたら
右へ移動して...

全員に入れるまで
射精しちゃダメよ



いいんですか…
本当に…?

じっくり味見
してね♡

いいのよ…
お尻も
好きに触って…

カッ

カッ

ほら…わかる？
ここに入れるの

祐樹君
オチ●チン
反り返ってるよ♡

ああ…ああ…

カッ
カッ
カッ

とっても
気持ちいいわよ…



はっ...はあっ...
はあっ...!!

あれれー?
もうイキそうなの?

ふふ...
気持ち良かったかしら?

はあ

はあ...

でもまだまだ
これからが本番よ?



この調子で
全員の味見を
してちょうだい...

うっ...くっ...

あああっ...!!

あっ...あ...
ちよっ...

何これ...!?

あらあら...♡

何か破つた気が
したけど...

これが処女の
女の人の...?

さつきより
締め付けが
きつい...

ああっ...!!

でも...いっけい

入れるだけじゃなくて...

ううう...

次は私の番ね
祐樹君♡

ふふ...
どうしたの?
腰ぐいぐい
押しつけて♡

私のオマ●コで
パコパコしてみたい?

早く...
動かしてみたい...

ほら
早く早く♡





ふふ…
祐樹君
気持ちいい？

初めての
セックスですものね…

あああっ…
そ、そんなとこ…!!

はあっ…!!
は、はいっ…!!!

一生忘れられないくらい
気持ち良く
させてあげるわ…

祐樹さんっ…!?

急にオチ●チンが
固くっ…!?



どう…?
入れながら
いじられるの
気持ちいいでしょう?

だめです…!!
で、出ちゃっ…

まだダメよ…
サラさんも
イカせなくちゃ…



ほらほら
頑張っ♡

あ♡♡

一生懸命腰振って…
可愛いわね…♡

あ♡♡…♡

祐樹さん…♡
そこ♡♡

そこ気持ちいいです♡

ふー
ふー…

いいなあ
2人とも

も…もう
無理です…!!

さっきは我慢
できたんだから…
もうちょっと
頑張らなきゃ…

はあ♡…
ぜえ♡…

出したいです…!!

あらあら…

ごめんなさい
祐樹さん…

私も…もうちょっとで
イキそうですから…

ほらサラさんも
こう言ってるんだし
頑張って…

わわっ!!

ほらおっぱいも
触っていいのよ♡

それに…
いっぱい我慢してから
射精した方が
気持ちいいのよ?

好きでしょう…?
男の子ですものね…

はあっ

祐樹さん…

おっぱいやわらかい…

手が吸い込まれて
埋もれてる…



気持ちいいですか
祐樹さん…？

よかった…
もっと…隅々まで
味わってください…

はっ…
はい…!!



あっ…
ああっ♡

ガキッ

ガキッ

スッ

ちよつとー
皆で気持ち良くな
っちゃってえ

私も仲間に
いれてよね

あー
ほー



ほー

ほー



祐樹さんが
感じる度に…

オチ●チン大きく
なってます…

おっ

私気持ち良すぎて…
おかしくなりそう…!!

サラさん…!!

とっ

はあ





んんっ…♡

やだっ…
子供なのに
指…感じちゃ…♡

んんんんっ♡

んひいっ♡

僕とのHで感じて…





あらあら…
2人ともそのまま
寝ちゃったわね…

今日はこのくらいに
しておこうかしら…

スウ…

スウ…

は…

はあ…

じゃあ私も
祐樹君と一緒に寝るー♡

汗拭かないと
風邪ひくわよ

身体もシーツも
ぐっちゃんだから



立派な
管理人としてね…

こうして…



僕の管理人としての
生活が始まった…

◆END◆



残念だけど
私達はおあずけね♡

ええ…でも
この子なら
期待できるわ…

明日から
頑張ってもらわないと…